



# 平成25年度国立市のお金は

## このように使われました (一般会計の主な事業と経費)

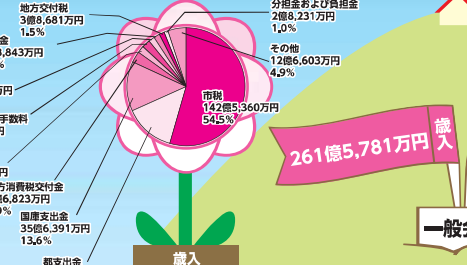
### <歳入のポイント>

- 歳入総額は、平成24年度に比べて2.9%の減少(△7億9,300万円)
- 地方税は、0.4%の減少(△5,000万円)

- たばこ税：税源移譲により8.9%の増(+3,600万円)
- 個人市民税：近年の収納率向上で滞納残高が減った影響により0.5%の減(△3,000万円)
- 法人市民税：法人税率引き下げや企業業績等の影響により7.0%の減(△5,000万円)

- 諸交付金は、4.4%の増加(+7,200万円)
- 普通交付税：18.4%の減(△6,000万円)
- 相当交付金：73.2%の増(+3,400万円)
- 株式等譲渡所得割交付金：779.3%の増(+9,300万円)
- 国庫支出金は、1.1%の増加(+3,800万円)
- 障害者自立支援給付負担金・生活保護費負担金の増
- 都支出金は、3.9%の減少(△1億5,000万円)

- 市町村総合交付金の増
- 私立保育園の耐震補強工事費補助事業の減
- 事業終了による小学校エアコン設置事業補助金の減
- 地方債は、普通建設事業が少なかったことや臨時財政対策債を借入れなかったことにより59.3%の減少(△7億3,800万円)
- 財産収入は、都市計画道路3・4・10号線の代替地としての普通財産を売却したことにより374.8%の増加(+4億1,600万円)



### <平成25年度決算のポイント>

- ①財政調整基金(貯金)の取り崩しと臨時財政対策債(借金)の借入れを行いました。
- ②市税等収納率は、納税者の皆さまのご理解ご協力および担当職員の努力により、平成24年度を0.5ポイント上回る98.8%となり、引き続き多摩26市中1位の結果となりました。
- ③経常収支比率(※)は、健全化取り組みの効果などにより、前年度比で3.7ポイント改善され、96.1%となりました。

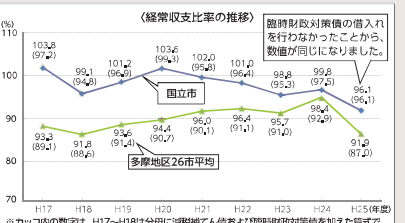
### 平成25年度に実施した主な事業

- 国立市民のいのちと健康を守る**
- 地域包括支援センター夜間・休日対応の拡充のために 292万円
  - 総合体育館および中央図書館の耐震改修のために 2,354万円
  - 災害時の拠点となる庁舎耐震化のために 2億6,720万円
- 国立の子育て・子育てに責任を持つ**
- 子どもの発達を支援するために 713万円
  - 私立国立あゆみ保育園の耐震化に対する補助のために 7,266万円
  - 学校支援センターを開設するために 167万円

- 国立のまちの景観と賑わいをつくる**
- 都市計画道路3・4・10号線の整備のために 2億9,713万円
  - 国民体育大会の成功のために 4,443万円
  - JR南武線緑保駅のバリアフリー化のために 799万円
  - 城山地区里山プロジェクトのために 535万円
- 法やルールを守り、赤字市政からの脱却を図る**
- コンビニ納付開始のために 262万円
  - 庁内のシステム関連経費の低減を図るために 1,260万円

家庭にとえと 給料に占める食費や光熱費など いつもかかる費用の割合

### 経常収支比率

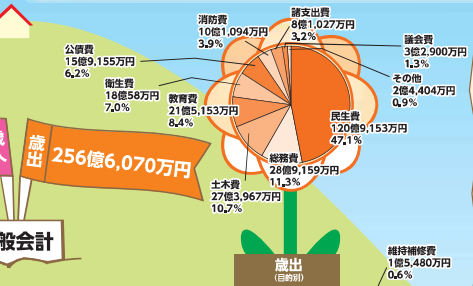


### 健全化判断比率と資

算定を行った結果、国立市は健全化判断比率が96.1%となり、前期を下回りました。実質赤字比率は黒字のため、算出されませんが、将来負担率は将来の充た可能財源を上回っています。健全化を促すための指標が基準を下回っている運営上問題がないといえます。ほかの指標も含め、分析・検討をしながら、堅実な財政運営に努めています。

平成25年度の一般会計決算がまとまりましたので、お知らせします。決算見込みについては、市報7月20日号に掲載しましたが、今回は経常収支比率などの財政指標や、歳入・歳出のポイントなどについてまとめています。なお、平成25年度決算の関連資料としては、「事務報告書」「決算書」「決算審査意見書」があります。これらは右記の場所で閲覧できます。お問い合わせ 政策経営課財政係

- 市役所1階 情報公開コーナー
- 中央図書館(富士見台2-34)
- 公民館(中1-15-1)
- 北市民 Plaza(北3-1-1 9号棟)
- 南市民 Plaza(京2-3-2 1号棟)
- ※事務報告書は市ホームページでも閲覧できます。



### <歳出のポイント>

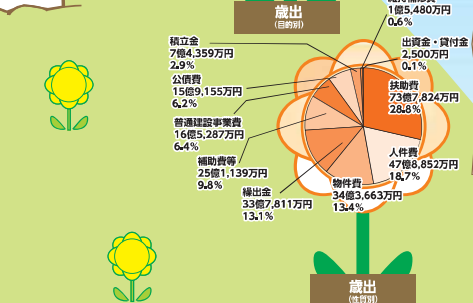
- 歳出総額は、平成24年度に比べて3.4%の減少(△9億240万円)
- 目的別では、総務費は増、民生費、土木費、教育費、公債費は減

- 総務費：庁舎耐震改修事業の実施による増
- 民生費：私立保育園の耐震補強工事の減少による減
- 土木費：下水道事業特別会計繰出金の減、土地区画整理事業助成金の減
- 教育費：小学校エアコン設置事業が前年度に完了したことによる減
- 公債費：起債額抑制による減

- 性別別では、扶助費は増、人件費、普通建設事業費、公債費、繰出金は減

- 人件費：職員給の減や退職者数の減少により0.4%の減(△2,000万円)
- 扶助費：障害者自立支援給付費、生活保護費の伸びなどにより3.7%の増(+2億6,000万円)
- 公債費：近年の起債額抑制の効果により2.7%の減(△4,000万円)
- 普通建設事業費：私立保育園耐震改修事業助成事業、小学校エアコン設置工事等が前年度に完了したことにより28.7%の減(△6億6,000万円)
- 繰出金：下水道事業特別会計における資本費平準化債の活用などにより、繰出金全体で11.6%の減(△4億4,000万円)

### 一般会計



### 歳入の主な取り組み

- 市税等の徴収率の向上.....7,358万円
- 国民健康保険税徴収率の向上.....6,968万円
- 国民健康保険税率の改定.....1億5,083万円
- 自転車駐車場使用料の改定.....2,385万円

### 歳出の主な取り組み

- 給与の見直し(給与構造改革等).....2,365万円
- 退職手当の見直し.....1,400万円
- 市議会議員期末手当の月数変更.....605万円
- 資本費平準化債の導入.....2億円

### 平成25年度 健全化の取り組み 効果額総額 6億1,159万円

民のためになる事業を これからもやってね

平成25年度の特別会計(国民健康保険、下水道事業、介護保険、後期高齢者医療)の決算状況と各会計の決算審査の結果については、市報12月20日号でお知らせします。

### 資金不足比率

国立市の健全化判断比率は資金不足比率はすべて下回りました。実質赤字比率は黒字のため、算出されませんが、将来負担率は将来の充た可能財源を上回っています。健全化を促すための指標が基準を下回っている運営上問題がないといえます。ほかの指標も含め、分析・検討をしながら、堅実な財政運営に努めています。

「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」は家庭でいうと年収に占める赤字の割合ね。「実質公債費比率」は年収に対する「ローン」の返済額の割合ね。「将来負担比率」は年収に対して「ローン」など将来負担する経費の割合ね

**<健全化判断比率>**

各指標	国立市	早期健全化基準(※)
実質赤字比率	-	12.7
連結実質赤字比率	-	12.7
実質公債費比率	0.7	25
将来負担比率	-	350

※基準を超えるると財政健全化計画の策定等が義務付けられます。

**<資金不足比率>**

会計名	国立市	早期健全化基準
一般会計	-	20
下水道事業特別会計	-	20

※「(ー)」は、数値がないことを表しています。

### 平成25年度 市長交際費決算額 608,800円

ご案内いただいた各団体や地域の行事への参加費等として、取り扱い基準に基づき、112回支出しました。市長の毎月の支出状況は、上記の場所でご覧いただけます。お問い合わせ 市長室秘書担当

### 基金

つまり「市の貯金」ね

平成25年度末の一般会計の基金(貯金)の合計は54億7,945万円で、前年度に比べて6億8,607万円の増となりました。

**<主な基金残高の推移>** (単位：億円)

基金名	平成25年度	平成24年度	増減
前次繰越基金	16.5	14.7	+1.8
公共施設整備基金	13.9	13.3	+0.6
道路および水防の整備基金	7.1	2.7	+4.4
職員退職手当基金	2.4	2.4	0.0